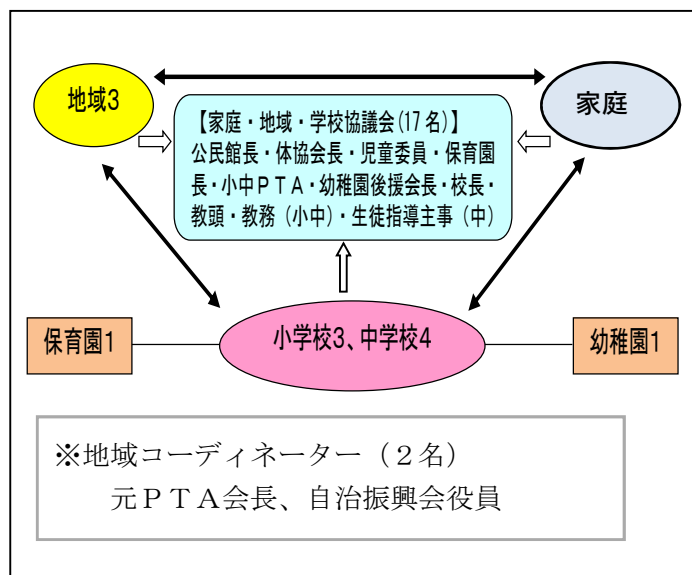


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- ①第1回6月6日
 - ・学校の教育方針と現状について
- ②第2回11月13日
 - ・全国学力調査について
 - ・通学路の安全について
 - ・地域と進める体験推進事業について
 - ・部活動削減について
- ③第3回3月3日
 - ・学校関係者評価による学校運営の改善
 - ・次年度への課題

(3) 協議会における成果と課題

- ・安心・安全なまちづくりのため、地域内の危険箇所について協議会で話し合った。その結果をもとに現地の確認をし、警察の立ち合いで設置場所や向きを決めて防犯カメラの設置を行った。
- ・中学校の部活動削減について、小学生のスポーツ少年団活動の現状や中学校の生徒数減による部活動運営上の問題点を話し合った。出た意見を次年度以降の中学校部活動運営の参考とする。
- ・児童生徒の放課後の過ごし方について、話し合った。遊び方や言葉づかい、保護者へのネットモラルや危険性への教育の必要性などが話題に上がり、反省点を学校での生徒指導に生かした。また、放課後の居場所づくりとして、自治振興会が「おかえりクラブ」を立ち上げ、現状と協力体制について報告があった。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童が地域の人と交流しながら、地域の課題等を改善する体験活動を実施し、王子保地区の伝統や文化に誇りや愛着を持つ児童の育成を図る。さらに、学んだことを地域の人に紹介する機会を設けたり、他地域におけるふるさとのアピールへと発展させたりして、次世代において新たな活力を生み出す人材を育成する。

(2) 活動の実際

①「おうしお夏まつりをもり上げよう」(3、6学年)

3年生は、自分たちにできる地域の活性化として、「おうしお夏祭り」の民謡踊りに着目した。地域のやあしき保存会の方から、王子保地区の歴史を織り込んだ民謡「王子保やあしきさん」



の成り立ちや歌詞の意味を教えてください、踊りを習った。「王子保やあしき」にこめられた地域の人の願いを感じながら練習を重ね、地区夏祭りの盆踊りの輪を盛り上げるのに一役買った。

6年生は、「おうしお夏祭り」をよりにぎやかにするために、手作りの飾りに着目した。自治振興会と連携して、入りロゲートを飾るペットボトル提灯を作製した。個性あふれる作品から透き出る淡い光が祭りを華やかに彩っていた。



② ようこそ先輩（5学年）

5年生は、キャリア教育の一環として「ようこそ先輩」を実施した。様々な職業で活躍している地域の先輩を4人お招きして、働くということ、仕事のやりがいや厳しさなどのお話をいただいた。地域の先輩の生き方や考え方に直に触れることで、今の自分を見つめ、将来の自分の生き方について考える良い機会となった。



（3）地域コーディネーターの活動概要

活動を行う際には、地域と学校とのパイプ役となって尽力していただきました。特に、5年生のキャリア教育「ようこそ先輩」の学習においては、打ち合わせを通して学習のねらいや担任の願いをしっかりと把握し、地域人材の掘り出し、人選、依頼、連絡等を一手に引き受けていただきました。おかげで、当日は学習のねらいが十分に達成された事業となった。

（4）特に工夫した事項

できるだけ教科の学習との連携を図った。また、地域の方から教わったことや調べたことをもとに、児童自身が考えを深めたことや見つけた課題について、保護者や地域の方に発信したり実際に足を運んで提案したりなど、児童の学びの連続性や地域の人との持続した関わりを大切にしました。

（5）成果と課題

学年の発達段階や学習内容をもとに年間計画を立て、取り組みやすい活動をメインとすることで、児童の気づきや学び、地域の思いを大切にしながら教育を推進することができた。アンケートの結果では、「地域や学校をよくしていこうとする活動や学習を通して、世の中や地域や学校について学んだり、考えたり、活動したりすることができたか」という問いに全校児童の91%が、「そう思う」と答え、ふるさとへの誇りや愛着心が着実に児童へ根付いてきている。

今年度、PTAや地区自治振興会などと連携して日野山登山および登山案内板設置を予定していたが、天候不順や学校行事との兼ね合い等により来年度に延期となった。地域やPTAの思いと児童の学びの過程をいかにすり合わせ教育効果をより高めるかが次年度の課題である。